

2017年5月14日 ジョイ・M・サクライ在福岡米国領事館主席領事講演

みなさんこんにちは



私はハワイ出身です。ハワイでしたら「アロハ」の言葉が挨拶やさよなら、愛情の意味がすべて一つの言葉にまとめてあります。

今日はちょっと緊張しています。皆様から大きくて元気な声で「アロハ」と聞いたらちょっと落ち着きますので「1、2、3」って言ったら「アロハ」って言ってくれると嬉しいです。

(アロハ！)

私は昨日家族たちと萩の方に行きました。萩ではとても素晴らしい侍、歴史を強く感じて、天気も良かったし、やっぱり山口は住みやすいところだと感心しました。そして昨日こちらのホテルでお泊りして、子どもたちは温泉が大好きなので、一緒に温泉にも入って、とてもいい経験になりました。

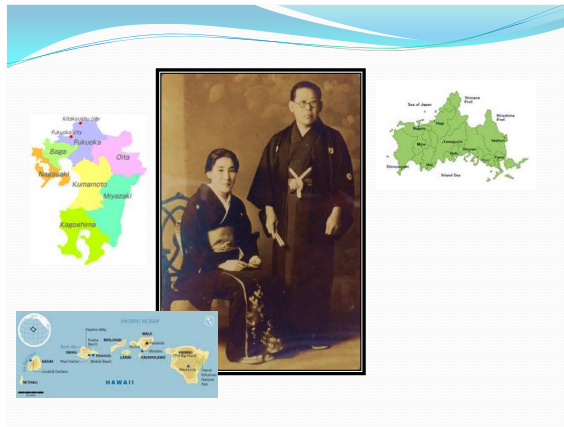
これから正式なスピーチに入りたいと思いますけれど、私は日本語を読むのが少し苦手なものですから、もし何か分からない、分かりづらいところがありましたら後でまたぜひ、聞いてください。スライドの枚数は少ないですけど、ここから少し開けてみましょう。

本日はお招きいただきましてありがとうございます。今回の訪問は4回目になりましたが、この美しい山口県への訪問を楽しんでいます。

私が初めて山口日米協会事務局長の入江さんにお会いしたのは、福岡で九州山口地域の日米協会担当者会議を開催した時です。その時に山口日米協会では歴代アメリカ大統領の歴史的な演説を解釈する勉強会や、映画シナリオの英文読書会のような、楽しく勉強する会をされていることをお聞きしました。また、海外留学を経験した日本人学生の体験発表会や、ジェットプログラムで日本に住んでいるアメリカ人の講演会なども実施されていると知り、うれしく思いました。

3月にホノルル山口県人会が山口を訪れた際には、多くの方にお会いすることができ、うれしかったです。山口からハワイへ、最初の移民から120年に渡って、今でも山口県と米国が密接な関係でいるのは素晴らしいことです。その時もこちらの山口日米協会の方がすばらしいフラを見せてくださったのはうれしかったです。

ハワイからの訪問団は、彼らの両親や祖父母の祖国とつながることができて幸せだったに違いありません。ハワイの県人会の会員の多くが山口との関係を失わないために、この2、3年の間に県人会に入会したというお話を伺って感動しました。



私の母の母、つまり祖母は服の仕立屋の家庭でした。私の祖母の両親は二人とも山口県周南市の出身です。これはハワイで撮った写真だと思います。これは100年以上前の写真です。私の曾祖父母は仕立屋で、ドレスを作っていました。彼らは100年以上前にハワイに移民して、彼らの7人の子供たちはみんなハワイで生まれ育ちました。その中で私の祖母だけが家族の伝統を引き継ぎ、ドレスをつくる仕事に就きました

た。私のおばあちゃんは子どもの頃、両親の仕事をお手伝いしていました…ロイヤルハワイアンホテルをご存知の方はいらっしゃいますか？ワイキキビーチのピンク色のホテルなのですけれども、そのホテルのスタッフたちの制服を手作りで、ボタンの穴も手作りで縫うところから彼女の仕事が始まったそうです。先日亡くなったのですが、97歳までは元気でドレスや洋服を作っていました。

彼女の他のきょうだいはみんな別の仕事を選びました。曾祖父母は彼らの娘たちにとって、素晴らしいお手本でした。彼女たち、その世代の女性たちは必ずしも専業主婦になるわけではなかったのですが、仕事をしながら、子育てや家族の世話をしました。私の母の姉と妹も仕事を続けながら家族の世話をしましたし、私も同じようにしています。私は仕事と家族のバランスをとる家庭の4世代目ですが、それはきっと私のルーツが山口だからでしょうか？どう思いますか？それは山口のおかげではないでしょうか。

ここで私のルーツをご紹介したのは、山口の人がいかに勉強家でチャレンジ精神を持ち、そして逞しいかということを知っていただきたかったからです。(拍手) 私は山口にルーツをもっていることを誇りに思います。(拍手) 私は山口にいるときはおばあちゃんや曾祖父母に似た顔があるかなと、いつも興味があります。(笑い)

今日ここにお越しのみなさんは、より強固な日米関係に努めていらっしゃることを存知あげています。九州に特別な関係をもつマイクマン・スピール元大使は「日米関係は世界でも最も重要な関係であり、そしてそれはほかに類を見ない」と述べました。その名言は数十年もの間繰り返されてきましたし、今日でもそれは真実です。

国防長官は彼の最初の海外訪問において日本と韓国を訪れました。それは私たちの安全保障関係の重要性を示すものです。米国政府がどのように日米国政府と働くかということは重要です。けれども政府間のみならず、関係を保つためにあらゆるレベル



で取り組むことは同様に大切なことです。

スライドのもう一つの写真ですが、トランプ大統領と安倍総理が早くから親密な関係を作ったのは素晴らしいと思います。安倍総理のひとつのとても賢い点だと思いました。これからも日米関係はずっと強く、同じよう続いていくと思います。

これからもう少し詳しく、どうやったら、日本国内とアメリカ人の関係を強くつくるこ

とができるかおすすりめしたいと思います。

日本の文化はみなさんから世界への贈り物です。上手に使ってみましょう。米国のある調査で98%のアメリカ人が「日本」と聞いたときに日本食を含めて日本文化を思い浮かべるという結果が出ました。ですから政治レベルのものではなく、単純に日本文化がアメリカ人にとっては印象的なものなのです。だから同じ調査でアメリカ人は日本人を“勤勉で器用でそして正直である”という結果が出ました。みなさんはこの調査結果から、山口をアメリカからの旅行者にとってより魅力的な場所にすることが出来るでしょう。山口はとても美しい街で、その歴史と侍文化はアメリカからの旅行者にとってとても魅力的です。この間も言ったのですが山口県の侍キャラクターがかっこいいと思います。それをもう少しアメリカ人にも紹介したらアメリカ人が山口に見に来たいと思うようになると思います。その上深く面白い侍の歴史、そして本当にきれいな自然があります。昨日萩から山口まで車で山を通ってきたのですが、こんなに素晴らしい山は関東の方では見えないものです。アメリカ人はよく、関東、東京や横浜の方から旅を始めるのですけれども、もうちょっとこういう綺麗なところを見に来たらいいと思います。

山口県は今、「デスティネーション山口」というキャンペーンを開催中で、日本語で書かれた情報が結構あります。とても素晴らしいと思うのですが、英語の方ももう少し広く作って、それをアメリカ人に開示したらこれもアメリカ人は面白いと感じると思います。既に山口県からこれをプロモーションしていますが、とっても幅広くやってもよいでしょう。およそ13万人のアメリカ人がこの3月に日本を訪れました。彼らの多くがリピートです。2回目、3回目、4回目の訪日ともなると目新しい場所、違った訪問先を探しています。私はこのような旅行者に、もっと山口を訪れてほしいのです。

もう一つは「ふぐ」なんです。東京でしたら「ふぐ」はあるときはあるのですが、値段も高くて…下関の方からも東京に運ばれているからと思うのですが、アメリカの旅行者が直接下関や山口市で食べたらもっとおいしいのではないかと思います。アメリカで「ふぐ」は限られたレストランでしか食べられませんし、値段はもっともっと高いです。ですから手ごろな値段でおいしいふぐを食べるアメリカ人がいっぱいいます。ぜひぜひ、山口のおいしいふぐをもっと紹介したらいいかなと思います。



多くのアメリカ人、そして世界中の人々は日本のアニメやマンガが大好きです。

多くのファンが日本語は読めないし、理解できません。それでもなお芸術作品を好んで日本語のマンガを買ったり、読んだり、日本語でアニメを見ます。山口県の維新のキャラクターはかっこ

いいですし、このキャラクターを世界中にプロモーションすることによって、山口県の知名度もきっと上がるに違いありません。このキャラクターを用いて映画をつくることもよいでしょう。

映画「君の名は。」を見た方はいますか？この映画は海外でも人気が上がったもので、(映画のモデルになった) 岐阜県には経済効果がありました。だから新海誠監督の次の作品がこの侍キャラクターを使ったものだったらきっと多くの外国人・アメリカ人が山口を訪れるでしょう。



「君の名は。」の九州バージョンを作ったらいいと思います。岐阜県はもちろんその映画のおかげで観光客も増えたそうですが、東京でもこの映画のモデルになった場所は人気があって、SNS… Twitter や Facebook を見ると観光客がこの絵のポーズをとって写真を撮る人がかなりいたようです。そしてこの九州バージョンと同じ山口バージョンを作ったらいいと思います。そして私もキ

ャラクターに入りたいです。これは一つのお願いです。サクライさんも入れてください。何か名前を変えてもいいのですけれど、私も映画の中に入れたら楽しいと思います。(笑い)

それから、観光資料にできるだけ英語を加えて、若い観光客向けに旅行する場所にするのも私たちの国の関係をさらに強めることとなります。機会があれば観光客や旅行者、そして行政に英語を話すことが必要です。旅行者にとって山口は旅行がしやすい場所にするのがいかに大切かということ働きかけてください。そうすることによって米国での山口の知名度も上がるでしょう。例えば、アメリカ人旅行者が滞在中に「獺祭」のような地酒を気に入ったとしたら、それが将来米国への輸出につながるかもしれません。これは私の次の提案にもつながります。「獺祭」はみんな好きですから。アメリカではあまり多くの酒の種類は飲めないので、もっともっと日本のおいしいお酒をここで飲んだら、それでまたアメリカの方の輸入をあげることが出来ると思います。それも一緒に努力していきたいと思います。アメリカ人の友達は最近

新しい飲み物を楽しんでいるのですが、最近昆布茶…日本だったら普通の飲み物、あまり飲まないものかもしれないですけど、最近アメリカの若い人たちの間でブームになって、昆布茶を飲んでいる人が結構います。お酒も、まだ試していないものもお友達に聞いているところです。いつもハワイに戻るときにはおいしいお酒や焼酎をスーツケースに入れて持って帰ります。

みなさんは日米協会の会員を増やすことを望んでいらっしゃると思います。私もそうになってほしいと願っています。新しい会員を勧誘するにあたっては、なぜ新しい組織に加入することが価値あることなのか伝えてください。その価値をわかってもらう最上の方法のひとつは、個人として会員であることがどれほど意味あるかを理解してもらうことです。なぜ日米協会が重要なのか、なぜ活動を続けなければならないのか。理由を訊いて彼らは納得するでしょう。組織について語るときにはどうしても活動自体に焦点を当ててしまいがちで、そのような個人の見解を説明することを忘れがちですが、これは大切なことです。

—人物交流の重要性についてお話したいと思います。—

交流事業は多くの時間、予算、そして労力を要することはわかっています。結構時間がかかりますね？計画するのは容易ではないですし、物事はうまくいかないものです。それでもなお、やる価値はあります。そしてそれは私たちみんなで日米関係を育むのを助ける最高に重要なひとつです。交流事業をすることはいつも…特にホームステイを取り入れるものは、それに参加した人々の間にはかけがえのない絆を作りあげているでしょう。

例えばホームステイでしたら、アメリカ人でお風呂の水道を全く経験していない人たちだったら喜ぶでしょうし、朝からお味噌汁を食べる人はアメリカではあまりいないですから、そういう細かい日常生活…日本人は全然面白くない、素晴らしくないと思うこともアメリカ人はきっと喜びます。おうちに泊まるときにしか経験できないことですから。ホームステイはしょっちゅうやったらめんどくさいこともあるのですが、できれば増やしたらいいかなと思います。

—交流事業に関して二、三の考えを申し上げます—

パートナーの団体と協力すること。例えば、新たな交流事業を単独で始めるときに、夏の短期交流として教授や学生を受け入れてくれる大学と協力してはどうでしょうか。もうこういうことはやっていると思いますが、何か私たちアメリカ領事館の方から正式にアメリカの生徒たちを募集するなど、できることがあればいつでも言ってください。

短期のスケジュールを組むこと。長期的な旅行は、入念なものである必要がありません。九州の他の日米協会と協力して、一緒に交流プログラムを実施してもらえるか打診してみたいです。それが可能になれば参加者は、それぞれの地区を数か月ご

とに尋ねることが出来ます。スケジュールはフルに詰まっていなくても大丈夫なのです。参加者はフリータイムに、観光やショッピング、休息などで時間を過ごすでしょう。

私が高校生の時は、石巻…東北からの高校生たちが毎年もしくは2年おきにハワイに来て、2週間のホームステイをしていたのです。ホームステイの高校生たちは、アメリカの家庭では朝からパンケーキが食べられると楽しみにしていたようなのですが…私の母はそんなに料理が上手ではなかったですから、前の夜のピザを朝に食べてくださいと出して、私はとっても恥ずかしかったです。ホームステイが終わった後、学生たちが書いたアンケートで「朝からピザを食べられることがアメリカらしくて楽しかったです」と。楽しかったのですね、初めてですから。だからそんなに正式、ゴージャスな定食を毎日作らなくてもいいのです。自分の家族の日常生活のやり方を見せるのは楽しく、価値あることです。

ーアメリカにある日米協会のネットワークを積極的に広げましょう。ー

アメリカ国内には32都市に40の日米協会があり、日米関係を円滑にしています。一つの例が…この例をどうして申し上げたいかというと、アメリカは広い国なので人口が多いのですけれども、どこでも小さい町でも日本への関心が高くて、日本とのつながりがいつでも持っていたいということを示したいからです。2011年3月11日の東日本大震災のとき、インディアナポリスが…インディアナ州はアメリカの真ん中にある場所なので、日系人や日本人が少ないところですが…インディアナポリスの日米協会が100万ドルの寄付を集めました。

どうやって集めたかというと、手作りの巻きずしを巻いて、お祭りやクリスチャン教会で売りました。何週間かたって100万ドルが集まり、それを東北の方に寄付しました。アメリカは東海岸やハワイだったら日系人が多くて、そういう人たちは日本が大好きだとももちろんみなさんわかっていると思いますけれども、インディアナポリスのようなところは私もびっくりしました。私がなぜこの例を好きなのかというと、アメリカのどこでも日本のことに興味を持っていて、日本のことが大好きで、日本との関係をもっと強く作りたいと思っているとわかるからです。こちらから、山口から少しだけ手を伸ばしたら、一緒に協力しましょうといったら、大勢の人がサポートしてくれると思います。



先月、熊本領事館が熊本を応援するビデオを作りました。くまモンも入りました。見たことがある方はいますか？Facebook や Twitter にもありますから、時間があれば見てください。その熊本応援ビデオを作るうちにいろんなリサーチが集まって、ヒロ…ハワイ島の小さな市ですけれど、ヒロ市でも70

00ドルの熊本への寄付金が集まったそうです。どうやってこのお金を集めたかとい

うとガレージセール、ガレージは家庭で車を停めるところですけど、いらないものを人に売って、そのお金を集めて熊本に寄付したそうです。本当に面白いことに、日本をサポートしたいアメリカ人はいっぱい、どこでもいます。そういう人たちを探して、私たちもお手伝いはできますから一緒に協力するのは楽しいと思います。

－そして県人会について。－

3月のハワイ山口県人会の訪問で示されたように、県会の多くのメンバーたちが山口と新たな結びつきを持つことを希望しています。ただ、彼らのメンバーのほとんどが日本語を話せないことが問題です。今日この会場にいらっしゃるみなさんの多くが、英語を上手に話せると思います。県会のメンバーがみなさんの助けをもって、英語でコミュニケーションをとれることに感謝します。県会に入っているアメリカ人たちと近い存在であることによって、みなさんはアメリカで、日本の利益を後押ししてくれているアメリカ人をサポートしていることになるのです。

私たちアメリカ領事館も喜んでお手伝いします。もしすでにみなさんが交流のアイデアを持っていたら、例えばアメリカからの観光客を増やすアドバイスをしてくれる専門家を招聘したいけれど、どこから手を付けていいのかわからない場合は私たちにお尋ねください。その分野の専門家をご紹介します。あるいはアメリカでの2週間の研修をする学生さんのグループにはアメリカの文化についてのブリーフィングを行うことも可能です。

－次の世代に投資する大切さについてお話したいと思います。－

この部屋にいらっしゃる方々がそうであるように、次世代の若者たちが日米関係に関心をもって取り組む二国間関係を促進していただくことを、確かなものとする必要があります。そのためにはどうしたらいいでしょうか。

私たち領事館の方で若い人たちのリーダーシップスキルの育成に投資することが大切です。領事館では学生インターンや委員会の活動などを通して、若い人たちのリーダーシップスキルや物事に取り組む意識を育てることが出来ます。今アメリカ領事館の広報領事部福岡アメリカンセンターでは学生インターンを受け入れており、大学の半期ごとに一人か二人の大学生がインターンとして経験を積みます。福岡地区の大学に通っている才能ある山口県出身の学生さんがいらっしゃれば、インターンシップへの応募をお勧めください。山口大学、山口県立大学の人たちはこの部屋にかなりいると思いますから、山口の大学からインターンがいればそれも喜んで、福岡アメリカンセンターで歓迎したいと思います。

私も学生時代にインターンシップ…ダニエル・イノウエ元上院議員のワシントン、D.C.のオフィスでインターンをしたことが、外交官になるインスピレーションになりました。だから私たちもインターンを受け入れて、日米関係を強める人たちのインスピレーションになるのが楽しみなのです。今でしたら、アメリカンセンターで、下関市にある水産大学校の学生ヨコタ・マサキさんというインターンを受け入れていま

す。そこの卒業生はこの部屋にいらっしゃいますか？いないかな、山口大学の卒業生は誰ですか？インターンの経験から日米関係をもっともっと強くする人たちを募集しています。

ーそして英語に投資することが大切です。ー

英語力をつけることが、自分自身の将来の可能性を広げるということを若い人たちに教えてあげましょう。そうすることがアメリカに留学する日本人学生を増やすことにつながります。日本とアメリカからお互いの国に留学する学生の数が増えれば増えるほど、長期的に見た日米関係は強くなっていきます。

在国アメリカ領事官では英会話や英語関連の活動を始めたいと考えている方々の応募制度もあり、英語のネイティブスピーカーや英語を流暢に話せる方などが応募することが出来ます。みなさんの中で英語学習促進のために補助金に応募する方が出てくることを願っています。申請プロセスは難しすぎることはありませんし、申請のお手伝いをすることも可能です。これまでに申請が認められた事例の活動をお伝えすることが出来ます。

例えば今、佐世保市では市の米軍基地の一人の方がこの補助金で、佐世保の図書館で英会話を教えています。先週ゴールデンウィークの間に佐世保市の朝長市長がその英会話教室を経験して、これから佐世保市が英語を話せる市となるよう力を入れていきたいとなったそうです。ここ、山口県でも熊野先生のような英語が上手な人たちに、別にアメリカ人でなくて日本人でも、一般の方々に英会話をやりたいと思う人がいたら、私たちが補助金でサポートします。後で連絡先を入江さんに渡しておきますから、よろしくお願ひします。

ーアメリカンセンターではアメリカ留学を希望する学生さんへの留学相談も行っています。ー

これは無料で、アメリカに行きたい、どこにいけばいいか、どうやったら奨学金がもらえるのか、アメリカの大学へ申込書をつくるにはどうしたらいいか、などなんでも質問があったら私たちがアメリカンセンターで相談を受け付けています。電話やメールでも相談できるし、福岡に遊びに来ることがあったらアメリカンセンターでも出来ますので、若い人たちにも教えてくれたらうれしいです。

そして私たちの方にお勧めすることがあれば Facebook と Twitter でぜひ教えてください。私たちの方でもアメリカ人がもう少し日本語能力…20年前と比べて日本語に興味がある人は増えたのですけれど、私が驚いたのは日本のアニメやマンガを理解できる若い人たちが増えたことなのです。アニメやマンガがきっかけで、日本語をもっと詳しく勉強したいが別に日本に住みたい、勉強したいという人は増えていないようです。アメリカだけで日本語の勉強を勧めたい人が多いです。一方で日本語に興味があって話せる・読める人たちは日本に住むことを考えているのですから、どうやったら日本に住んでくれるかみなさんの意見もお聞きしたいです。



それではここでいったん話を止めて、みなさんからの質問やアイデアを訊きたいと思います。

Q：英語学習のための補助金制度とはどのようなものなのでしょうか？

A：補助金が用意されています。一つの例が…例えば大学の英語の先生が学外の一般の人に英会話のクラスを開催したいと思ったとしましょう。資料をコピーするお金、ゲームをする際の買い出しのお金などが補助金にあたります。給料ではなくて材料やゲームのプライズを買うお金になります。もしそういう英会話クラスをつくりたかったら、申込書がありますので、アメリカンセンターの方に出していただきます。それで承認されれば補助金をお渡しすることが出来ます。

今は佐世保市に一つあるのですけれど、佐世保図書館で週一回または二回ぐらい一般の人が図書館に来て、英会話を楽しんでいるようです。この間のゴールデンウィークでも…ゴールデンウィークはみんな休みですが、40人ほど若い人たちが図書館に集まって英会話をしたそうです。

オーディエンスは子どもたちでも大人でもどんな人でもいいのですが、英会話に集中するのか、アメリカの文化を紹介するためにアメリカの歴史の講座をやるのか、計画を私たちの方に出して、オーケーが出たらお金をお渡しします。一回終わって「うまくいっているからもう二回延ばしてもいいですか？」ときかれたら、お金があつたらぜひやりたいと思います。

私たちも直接こういうことをやりたいのですけれど、佐世保であれば福岡からは2時間程度かかりますし、ここ山口まででも2時間はかかりますから、そんなにしょっちゅう教えることは…心からやりたいのですけれど、ちょっと遠いですから、この近くの人が出来ればとっても嬉しいです。

毎週水曜日、私たちは福岡にある西南大学でアメリカ領事官や外交官4人…私の主人は今育休中ですが彼も外交官ですから5人で、「アメリカの文化」「アメリカの歴史」「アメリカの政府・経済」「日米関係」「リーダーシップ」などいろいろな講座を11週間教えています。

こういう講座を山口でもやりたいと思っているのですがちょっと遠いですから、今回初めての講座は近場でやって修正を加えて、次の講座はもう少し遠いところでやりたいと思っています。もしこの大学で誰か興味があれば、私たちの方に教えてください。

一つのポイントはこの講座が、英語で教えているということです。学生さんたちの英語能力も上げるために英語だけで教えているのですけれども、あまり難しい英語ではなくて簡単な英語で授業をしています。だからもし、山口の人興味があればぜひ伝えてください。

Q：サクライ領事ご自身がワシントン.D.Cでインターンをご経験されたということでしたが、インターンシップとはどのようなものか教えてください。

A：インターンシップは若い人たちが無償でどこかで働くことです。

ただ一つ問題が…学生ですとあまり自分のお小遣いがないですよ。夏休みでしたらバイトをすることが多くなりますから、両親か奨学金のサポートがなければインターンに参加できる人が少ないです。私の場合でしたら、ワシントン.D.Cでその夏休みだけの期間で3か月間…アメリカの大学は休みが3か月あるのですが、大学と交渉して大学の単位をもらいました。それが一つのポイントで、単位がもらえるのだったらワシントン.D.Cの学生寮…学生が帰省している間大学生は誰でも住めますから、両親が寮のお金を払って、私のアルバイトのお金で食べるものを買っていました。

そしてダニエル・イノウエ元上院議員のオフィスでは無償で働いたのですけれども、そのオフィスの人たちは、大学生がこれからパブリックサービス、外交官や普通国家公務員になりたいと思ってくれたらすばらしいと思ったのでしょうか。資料をコピーする仕事だけではなくて、例えばハワイからの観光客がワシントン.D.Cに来たら、その人たちをキャピタルビルディング…上院議員たちが働いている職場を、ガイドツアーするような一般的な仕事を任せてくれました。

歴史の勉強をしたりダニエル・イノウエ元上院議員の前で二、三回くらい練習したりして、彼からの「これなおして」「これもう少し述べたほうがいいかな」といわれたことに私はとても感動しました。偉い人とちょっと経験があればそれがずっと人生の中で残ることがあります。

インターンシップは二つの面があります。インターンシップはやっぱお金がかかりますから、それをちょっと考えて通勤料を出せば学生たちが助かります。残念ながら領事館の方からは0のお金で、なにも出せないのですけれど、その代わりに豊富な経験をつくってほしいと思います。たまに「このコピーを50部とってください」ということはありますけれど。ある一人のインターンがビデオを作るのが得意だったので、私たちの熊本応援ビデオをつくる時にはそのインターンも連れていきました。インターンはこのように一般的なお仕事をさせますから、豊富な経験が出来ればいいと思います。学生でしたら本当に何でも学びの場になるでしょう。

成績が高い学生でしたら勉強する以外のこと、どうやってオフィスの狙っていることを解決するかといった経験は今まであまりないですから。例えば学生たちにもっと留学生を増やしたいから、どうすればいいかな?と訊くことがあります。ちょっとした調査を作ってくださいと頼んだら喜んでチャレンジして何か作ってくれます。また、私たちはこういう日米関係のことを解決したいのですが、どうしたらいいですか?と訊いたらすぐプランニングしてくれます。SNSも私たちにドラフトをつくってくれます。そういうことです。だから週2、3回でもいいし夏休みでしたら毎日でもいいです。週に2、3回のいいところは、その間にバイトも出来ますから、インターンたちもちょっと落ち着きますね。

インターン制度についてももう少し聞きたかったら、私たち領事館の方でカグノさんという方を訪ねればいろいろ教えてくれると思います。

私のインターンの経験についてですが、ダニエル・イノウエ元上院議員のワシント

ン.D.C オフィスだけではなくて、一年間東京で日本の法律事務所で勉強していたこともあります。それは15年前…もっと前かな？

法律事務所は4人の弁護士がいたのですが、パソコンが一台しかなかったのです。その当時はタイプライターをよく使っていましたから。その事務所にパソコン10台をどう入れるか、どのようなソフトを導入するか、すべてインターンの仕事のひとつとして私に任せてもらいました。弁護士たちはパソコンの使い方は全然知りませんでした。私に普通の仕事の経験はなかったですけれども、若い人たちも価値があります。どうやって若い人たちの力を使うのかを考えてください。

もう一つは奨学金をかりて半年間、パリの法律事務所で勉強しました。その時はフランス語から英語に資料を翻訳していました。法律事務所関係の仕事が長くなって、やっぱり私は弁護士になりたくないという自分自身の思いに気が付き、勉強になりました。

最後のインターンがダニエル・イノウエ元上院議員のオフィスで、やっぱり国家公務員になって、アメリカ政府のことをサポートしたいと思うようになりました。

それから大学のあと2年間はジェットプログラムで、沖縄・那覇の県庁で国際交流員の仕事をして、その後2年間ワシントン.D.Cにある日本大使館で働きました。だからそこで、日米関係はどうやって日本側から強めるのかを見て、外交官になりました。私のユニークなところは、日本政府がどうやって日米関係をを進めることを直接見たことです。日本にいる間の仕事は世界中に比べて一番楽しいです。

インドネシアでも2回働いて大好きですけれども、やっぱり日本との関係をつくるのが一番楽しいです。パキスタンも、ワシントンD.Cでも、経験があります。だからインターンは本当にオススメなんですけど、ちょっと前からどういうプロジェクトが一番大切で、若い人たちが一番うまくできるかということを考えるのが大切だと思っています。

Q:どのようにして他国の言葉を習得されましたか？またその必要はどれほどありましたか？

A:私が思うのは直接関係するのが一番大切だということです。例えば、なにかYouTubeやテレビでパリの映像を見たりすると、パリは素晴らしいところだなとすぐにわかってしまいますけれども、パリに行くことはもっといい経験になるじゃないですか？悪い経験もたまにはありますけれども、いい経験だとフランスでチーズを食べたり地元の人が何を話しているか聞こえたり、匂いも…日本人はそのセンサーをアメリカ人より良く使っているのですけれども、やっぱりこれがフランスパンの匂いだ、というように直接経験することが一番大切だと思います。

インドネシア語のときは、8か月間ワシントンD.Cの国務省の語学研修所で勉強しました。それまでは東南アジアの経験はその時まで人生で0で、インドネシアはアメリカ人にとってどういうところか全然知りませんでした。

一つ助かったのは、インドネシア語は日本語と同じように私、彼、彼女、僕という言葉

葉を英語よりは使わないのです。英語だったら「私はお腹が空いている」でも日本語では「お腹が空いているなあ」で、「私」が抜けても誰がお腹を空かせているのかみんな自然にわかるじゃないですか。インドネシア語も同じようでしたから、先生たちも「サクライさんはそれがすぐ理解できたのですね」と。他のアメリカ人がいつも私、僕、あなた、彼と言っていたのですが、入れてしまうとインドネシア人にとっては少し不自然に聞こえてしまうようです。

語学のパターンを考えて、ここは英語と似ている、ここは日本語と似ている、ここはフランス語と似ているということを頭に考えると、もっと自然になると思います。インドネシア語が一つ簡単だったのは、ローマ字を使っているものですから、新しい書き方を覚えなくてもいいところでした。

地元の人がどうやってこれを説明するのかを頭のなかに覚えて、次の時自分が使うのはいいのではないかと思います。単語だけじゃなくて、直接訳すのも不自然な時もありますから、こういう時この文章は使う、と覚える方法です。

私は普通の日本語より電話の日本語の方がもう少し上手です。なぜかというと、沖縄の県庁では電話線が15人に対して5線しかなかったですから、みんな手が空いたらすぐ受話器を取ります。何回も何回も電話の日本語を使ったことがありますから、電話で人と話すのは普通の日本語を話せるアメリカ人の友達よりはちょっと自信があります。県庁の人たちの電話日本語を何回も何回も聞いて同じことをマネして、自然になりました、と思います。どうかな？入江さんが明日テストするかもしれないですね。私の職場へ明日電話して…サクライさんの電話日本語はどうかな？って、冗談ですけど。そういうこともひとつ、ポイントだと思います。こういう人たちがどう言っているかをちょっと学んで、単語だけではなくて…それは大切です。

そしてみなさん英語が上手だと思いますけれど、英語を話すときはI、You、He、Sheをよく使ってください。言わないとアメリカ人は、誰が言ったの？誰がお腹空いている？誰が帰りたい？と少し不思議になります。He、Sheが日本語でもインドネシア語でも同じでHeはアメリカ人が使う“彼”で、Sheが“彼女”ですよね。でもインドネシア語も日本語でも男性女性は分けないで、ひとつのことばしかないので、インドネシア人もよく間違っています。

Q4：日本語のどこが一番難しかったですか？

A：私は英語の文法でも難しくて苦手なのですが、日本語の文法が今までも…大変でいつ「は」や「が」を使うのかわからなくなる時があります。

例えば「助ける」「助かる」「助けて」そういうちょっとした微妙な、日本人が聞いたら間違っているとすぐわかるじゃないですか。私が「助ける」「助かる」ときいたら、どっちでも同じように使えます。「助けてくれて」「助かる」と意味は分かっているから、私には間違っているとは聞こえないのです。

He、Sheと同じです。アメリカ人はHe、Sheの違いなんて聞いたらすぐわかるじゃないですか。日本人がHe、Sheを間違っても気が付かないこともあるでしょうか

ら。そういった小さい、細かいところは、私が何回文法を勉強してもあんまり聞こえないところです。

日本語を書くことですが、ひらがなカタカナは書けるのですが、自分が言いたいことをきれいな日本語で書くのは、小学校3年生の方が私よりきれいにできると思います。それはいつも恥ずかしくて、ノートを書くときは一番簡単な言い方を考えて、そんなに丁寧じゃなくても簡単な方で書きます。日本語は素晴らしい言語ですが、でも難しく、私は今でも集中して勉強しています。だからみなさん変な日本語をきいたら後で、それ合っていないよ、と教えていただけたら嬉しいです。

本当にお願ひします。

次の「君の名は。」の九州山口バージョン作ったら、アメリカ人が大勢来ますから…オススメです。

ありがとうございました。